第３回 実施報告書

銭座なかよし 未来トーク

銭座地区の未来のために できることを考えよう！

■日時：令和8年6月7日(日)　■場所：銭座小学校体育館　■参加者数：44名

このたび銭座地区では、まちの未来を描いた「まちづくり計画」をつくるために、計画に必要なアイデアを集める場として、「銭座なかよし未来トーク」をスタートしました！

地域の皆さんと一緒に銭座地区のことについて語り合い、まちづくり計画が完成したら、計画を実現させるため、銭座地区コミュニティ連絡協議会を設立して、「地域のまちづくり」を住民の皆さんと協力して進めることを目指しています。

たくさんの方にお集まりいただき、第３回の話し合いを開催することができましたので、当日の様子をお知らせします！

銭座地区コミュニティ連絡協議会設立準備委員会とは…

自治会をはじめ育成協や社協支部、民生委員、育友会、地域企業など地域の様々な団体が協力しあって、地域にある課題を解決していくことを目指す「（仮称）銭座地区コミュニティ連絡協議会」を設立することを目的とする団体です。

1 オリエンテーション

はじめに、銭座地区コミュニティ連絡協議会設立準備委員会の富澤委員長より開会挨拶を行い、山口事務局長より、前回までの経過等について説明を行いました。



富澤委員長

2 前回の意見の確認＋分野の選択

2月15日に開催した第２回「銭座なかよし未来トーク」では、「銭座地区で暮らしていて、感じることは？」というテーマで話し合いました。そこで出た236の意見を準備委員会で整理して、４つの分野に分けた意見集をみんなで確認しました。そして、意見集を参考に、自分が話したい興味のある分野を選んでもらい、分野ごとにグループに分かれて話し合いました。



3 グループでの分野ごとの話し合い

４つの分野ごとに「目指す姿」と「私たちにできること」について話し合い、グループごとに話し合った内容を模造紙にまとめて発表しました。（以下、一部抜粋）

分野	銭座地区の今（いいところ、心配なところ）	目指す姿（目標）	私たちにできること
交流	●人とのつながりがある、地域のつながりがある ●住民だけでなく、企業の方も参加してくれる ●あいさつ見守り活動（カッパ隊）がいる ●行事に参加してもらってつながりを深めたい ●自治会加入者が減っている ●マンションは回覧板もなく情報共有ができていない	●いろんな世代や職域が融合したまち ●みんなが気軽に声を掛け合えるまち ●多くの人に銭座の魅力を発信できるまち	●協力企業、学校との結びつき継続 ●あいさつ啓発横断幕の作成 ●行事の企画を小学生にも考えてもらう ●子どもたちの発表の場をイベントに入れ込む ●銭座マップの作成 ●自治会の活動内容をわかりやすくまとめる ●広報強化、地域のコミュニティ情報の発信
安全安心・生活	●公共交通機関が充実している ●身近なところに郵便局やスーパー、病院、小学校、コミュニティセンター等があり、コンパクトにまとまっていて住みやすい、便利なまち ●防災協議会が設立されている ●空き家が多い（防犯・雑草・ねこ等が心配） ●道が狭く、緊急車両横付けが難しい ●ねことの共存ができるか心配	●空き地・斜面地がにぎやかになるまちに ●年寄りも子どもも安心して歩けるまち ●ネットを活用する ●移動に困らないまち ●交通面で安全なまちに ●人と動物とのルールをつくり、みんなが過ごしやすいまち	●地域の中で空き家空き地の情報共有をする ●危険箇所を地域で共有する形をつくる ●地域の郵便局や店舗に見守りの協力をお願いする ●乗合タクシーを活用する ●防災無線をもっと活用する ●地域でねこを増やさない活動を行う ●地域と企業が一緒にゴミ拾いする
まちの魅力	●景色・夜景がきれい、眺めがいい ●スタジアムシティやココウォークといった大型商業施設がある ●銭座小を中心に歴史を感じる史跡等が多い ●人権への意識が高い ●てんじんくんの継続運行できるかが心配 ●買い物場所の課題がある	●歴史、多文化共生、地域を知る・学ぶ ●おもてなしのまち銭座 ●被爆の歴史が風化していない学べるまち ●長崎の食のまちに	●てんじんくんを地域の目玉として大きくPRする ●スタジアムシティやココウォークとのコラボ ●商店街の活性化、商店街を利用した飲み会 ●まちあるきの継続、史跡をめぐるまちあるきルートをつくる ●平和や歴史、浦上街道を伝えるための取り組み、PR ●人権、多文化共生のまちづくり
健康・福祉	●階段を約100段上り下りすることで自分の調子がわかる（健康のバロメーターになる） ●健康（健脚）づくりができる ●子どもたちが優しい ●独居者が多くなっている、引きこもり老人 ●詐欺・盗難が怖い ●子どもが少なくなっている ●運動ができる公園がほしい	●高齢者と子どもが日常的に交流できるまち ●高齢になっても元気！！ ●安全・安心に暮らす！！	●デイサービス、スポーツセンターの活用、周知 ●銭座さるく、ウォーキングを定期的に行う ●見守りシステム、ボランティアグループをつくる ●あいさつ運動、見守り、声かけ ●話し相手、一緒に散歩できる人を見つける ●幼児、子ども、お年寄りが楽しめる公園整備 ●敬老の日イベントの実施、孫世代との交流

4 ふりかえり

最後に、ふりかえりを行い、松尾理事から閉会挨拶を行いました。

≪主な感想≫（一部抜粋）

●銭座の強み・弱みが見えてきて、それをどのように伸ばしたり、改善したらいいか考えることができ、有意義な時間となった。

●困ったことに対して、いろんな見方、意見がありこれから役に立っていくと思います。皆さんで協力しながら実現に近づいて行けたらいいなと思います。

●たくさんの意見が出て、参加して良かったです！斜面地と平地の住民の違いをよく理解したい。銭座地区をたくさん知りたいので「マップ」や「まちあるき」をしたいですネ。

●皆さん銭座地区のことを本当にいろいろ考えて沢山の意見を出されているので先が楽しみです。最近は若い方の参加も増えましたので、この地区の大変な所を、若い力でいい方向に進めていってほしいと思いました。



松尾理事

■発行元：銭座地区コミュニティ連絡協議会設立準備委員会　■発行日：R8.9月